

青年海外協力隊でウズベキスタンに2年間派遣の 平岡真希子さんが帰国報告

7月5日(月)、青年海外協力隊としてウズベキスタンへ派遣されていた平岡真希子さん(和寒町出身)が町長を表敬訪問しました。

平岡さんは独立行政法人国際協力機構JICA(ジャイカ)の一員として、ウズベキスタン共和国へ2年間日本語講師として派遣されていました。派遣中は首都タシケントにある国立言語大学で日本語を教えるかたわら、生徒達に日本食を振舞ったり、東洋言語フェスティバルなどといった催しに生徒達と一緒に参加しヨサコイを披露するなど、文化交流も積極的に行っていました。現地での思い出を振り返り、「現地ではカンニングが文化として根付いてることにまず驚きました。ですが、最終的には自分の力で努力する大切さに気がついて



もらえたので嬉しいです。」と話していたほか、「様々な交流を通し、現地の人たちに日本文化に触れてもらえてよかったと思っています。現地での思い出はすべて私の宝物です。」と話してくれました。



活動の状況をパソコン画面で町長に説明する平岡さん

平岡さんは今後のことについて「今までの経験を活かせる道を歩みたいです。」と話しており、報告を聞いた伊藤町長も「お疲れ様でした。今回の経験を今後の人生に大いに活かしてください。」と労をねぎらいました。

全日本モトクロス選手権



国内最高峰のモトクロスレースである「全日本モトクロス選手権シリーズ第6戦北海道大会」が7月3日(土)と4日(日)の2日間、わっさむサーキットにおいて開催されました。

道内唯一の全日本大会である和寒大会は今年で19回目を迎え、今年も全国から国際A級、国際B級、レディース、ジュニアクラスの国内トップクラスのライダー集まり、熱いモトクロスレースが展開されました。会場には、町内外から延べ2,000人を超える観客が詰めかけ、豪快なジャンプなどに歓声をあげていました。

